

3

It was a boiling hot day, and the sun beat down.

A fox was walking along a path in the middle of a field and he was starving because he hadn't eaten for days.

"Ah, I'm starving! I wonder if there is something to eat!" he said.



5

All of a sudden, a big tall vine appeared from across the path.

And he hurriedly ran up to it.

The vine was loaded with lots of grapes.

"Oh, what a sweet and sour smell!"

It made his mouth water.



17

きょうは おひさまが かんかんと
てりつける、とても あつい ひです。

のはらの まんなかを とおる みちを、
いっぴきの きつねが あるいていました。

きつねは もう なんにちも
えさを たべていなかったのもので、
とても おなかを すかせていました。

「ああ、おなかすいた・・・

なんでも いいから、

たべられるものが ないかな～」



ふと みちの むこうに、
おおきな きが みえてきました。

きつねは おもわず かけよりました。

なぜなら、そのきは ぶどうの きで、
えだに おいしそうな ぶどうが
たくさん なっていたのです。

「ああ、あまずっぱい、いい においだな～」

きつねの くちから
よだれが こぼれました。

